



PICTURES AT AN ELECTION

or

How to Get Votes in Japan

© 2008 by Axel Klein,

Deutsches Institut für Japanstudien Tokyo

Chapter 1

司会： ご来場の皆さま、本日は参議院議員選挙・公開討論会東京選挙区にお越しいただきましてまことにありがとうございます。司会の社団法人町田青年会議所、相原ゆきでございます。どうぞよろしく願いいたします。

それではご入場ください。皆さま、盛大な拍手にてお迎えくださいますようお願い申し上げます。

保坂さんぞう様、大河原まさこ様、鈴木かん様、杉浦ひとみ様、山口なつお様、中村健一郎様、田村智子様、そして本日コーディネーターを務めていただきます曾根やすのり様です。

曾根： じゃ、山口さん

山口： 当初はすでに年金を受給している人のやつを優先してやりましょう、これからの人はその後でやります、という二段階だったんですが、しかしシステムを開発すればいっぺんにできる、ということでこれを前倒して、今年の12月から来年の3月までに名寄せ作業を終えます。

今、すでにいろんな相談事がありますから、こういう仕組みが整ったら、また機械化のソフトが整ったところで間違いなくやるということが、物事の順序であると思います。

中村： そういうのを、『二階から目薬をさす』ような手法だと言うんですよ。今もらっている人にとっては、この次どういう制度でもらえるかってことが身に迫っているんですよ？ 来年4月までに一括して報告するから、待ってくれっていうの？

曾根： はい、ありがとうございました。はい、一時しのぎですが、ここで自民党の丸川珠代さんをご到着ですのご入場していただきたいと思います。拍手でお迎えしたいと思います。議論がもう途中まで進んでおりますけれども、次のテーマ、財政再建という条件でなければ、消費税率アップはすべきであるとお考えでしょうか。

…これは民主党が丸…

以上をもって、討論を終わりにいたします。ありがとうございました。マイクを司会者にお返しします。



CHAPTER 2 – Min 5:00

選挙カー：川田龍平、川田龍平でございます。ひとりひとりの命が大切にされる政治をつかって参ります。ありがとうございます。なぜ、政治を変えなければならないのか。川田龍平、だれよりもこのことを考えて続けてきました。

川田（街頭）：川田龍平です。薬害エイズの事件を覚えていますでしょうか。薬によって多くの方がエイズウイルスに感染し、600人以上の人の命が奪われていった事件です。私自身も薬によってエイズウイルスに感染したことを、10歳の時に母親から聞かされました。周りでは友達が次々とエイズを発病し、殺されていきました。私自身も、いつエイズを発病して死ぬかもしれない不安と闘いながら、人は何のために生きるのかを常に考え生きてきました。高校3年生の時、薬の危険性を知りながらそれを販売し続けた製薬会社と、その薬を安全だと認可した国に責任を認め謝ってもらうため、薬害エイズの裁判に加わりました。19歳の時、差別の中で隠れて生きるのではなく、堂々と生きていきたいと思い、川田龍平という実名を公表しました。私は今年、31歳になることができました。ここまで生きられるとは思いませんでした。皆様のご支援のおかげで、今の私があります。本当にありがとうございます。

丸川：身長は160センチ少し欠けるくらいです。だから、よく今、街頭に立っていると「ちっちゃいのね」って言われるんですよ。（好きな色は？）赤です。絶対赤！見ると元気になりますよね。（男性のタイプは？）面白い人が好きです。というか、面白いと思うことが同じ人が好きです。だから笑う時は一緒に笑えるし、悲しい時は一緒に「なんか悲しいね」って言いながらまた笑えるっていう、そういう人が好きです。

司会者：おはようございます。本日はご多忙の中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。これより、丸川珠代出陣式を執り行わせていただきます。丸川珠代選挙対策本部長の平沢勝也よりご挨拶をされます。平沢勝也先生、よろしく願いいたします。

平沢：おはようございます。お集りいただきましてありがとうございます。いよいよ戦いが始まりました。天下分け目の関ヶ原の戦いでございます。たいへんに厳しい戦いでございます。しかし、私たちは負けるわけにはいきません。勝たなければなりません。勝てるはずでございます。もし明日投票なら、私は丸川さん負けると思います。しかし、17日間あるんです。この17日間必死にがんばれば、私は絶対に勝てると思っております。選挙というのは、負けた時はこれは本人の責任、勝った時は皆さん方のおかげなんです。丸川さんは今までメディアの世界にいて、そして客観的に政治を見てこられました。そしてもちろん当然のことですけれども、自民党については批判的なんです。だから私は、丸川さんは自民党の候補者としてはふさわしいと思っているんです。自民党に批判的だった、だからこそ自民党に来てもらって、そして自民党に新風を吹き込んでもらって、そして自民党を変えてくれるのではないかと考えております。どうか、厳しい戦



(c) 2008 by Axel Klein

いですがけれども、負けるわけにはいかないこの戦い、皆さん方のお力を受け、何としても丸川さんを勝たせてください。勝ちましょう！皆さん方のお力を心からお願い申し上げまして、そしてお互いに全力を尽くすことをお誓い申し上げまして私の挨拶に替えさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

塩崎：皆さんおはようございます。ご紹介いただきました、内閣官房長官の塩崎やすひさでございます。いよいよ、安倍内閣にとりまして初めての大きな国政選挙、参議院選挙がスタートをいたしました。そして丸川珠代候補にとっては初陣でございます、いま平沢先生からお話がありました通り、我々は勝ちにいくんだ、勝ち抜いていくんだという強い意志をもって、17日間の選挙を今日から戦い抜いてまいりたい、このように思っているところでございます。聞くところによると、アナウンサーになって1年目の時に熱いたこやきを食べて、生の中継でありましたが、熱くて喉がやけどして、(食道が)だけでもそれをずーっと食べ続けて、そして放送が終わったところで病院に運ばれて13日間入院していた。こういう話を聞きました。やっぱりそれだけの責任感と、自分を捨ててでも目標のためにはがんばり通す、この資質がこれからの政治には絶対になければならない、このように思うわけでございます。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

司会者：塩崎官房長官ありがとうございました。それでは長官、残念ですが退席されます。

CHAPTER 3 – Min 12:10

選挙カー：それではさっそくでございますけれども、本人、保坂さんぞうよりお伝えさせていただきます。どうかご静聴をたまわりますよう、お願い申し上げます。保坂さんぞうでございます。

保坂 (街頭)：皆さまこんにちは。ただいまご紹介を賜りました、参議院の東京都中央区・自由民主党の公認候補の保坂さんぞうでございます。この年金問題は、最終的にやらねばならないことは、安倍総理が必ずこの年金制度を、国民の皆さまが納得する年金制度としてしっかりとしたものにするという約束をしたわけでございます。この選挙、負けるわけには参りません。2期、12年がんばってきた実績、いや、これを無いのと同じく、初心に戻って戦い抜きます。ありがとうございました！

司会者：それではお待たせいたしました。第21回参議院選挙東京選挙区から立候補いたしました、丸川珠代に決意表明をさせていただきます。丸川候補、よろしくお願いいたします。

丸川：皆さん今日はお忙しい中、また天候のあまり良くない中をこうしてこんなにたくさんの方にお集りいただきまして、本当にありがとうございます。私がメディアの世界



(c) 2008 by Axel Klein

を離れて、そして自分が現実と向き合って答えを出す仕事をしたい、その思いで訴えてきたこと、それは少しずつではありますが、多くの方に浸透してきていると、私は自分が魂をもって自分の意思を伝えれば、必ずや分かってくれる方が増えてくる、それを積み重ねてきた1か月間でした。そして何よりも、一人でも多くの日本人が「日本人でよかった」と思える国をつくるために働かせていただきたいと思っております。私は、平沢先生の言われたとおり、本当に一生懸命倒れるまでがんばります。ですので皆さんどうぞ、最後の最後まで応援を、ご支援をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。がんばります！

司会者：丸川候補、男性は右に女性は左に目を入れるそうですので、向って左の目に目入れをお願いいたします。もとい、ダルマの左目の方に入れていただきます。

えー、めでたくダルマに目が入りました。最後にここにおいでの方の皆さま、心を合わせて必勝のコールを行いたいと思います。通常はがんばろう、がんばろうコールですが、平沢本部長から「選挙でがんばるのはあたりまえだ、我々は必ず勝つぞ」ということで、「必ず勝つぞ」コールを行えとの指示を受けておりますので、勝つぞコールを皆さんと共に行わせていただきたいと思います。大変恐縮でございますけれどもご起立をいただけますでしょうか。では勝つぞコールを3回やらさせていただきます。よろしいでしょうか。はじめさせていただきます。

丸川珠代の必勝をめざしてー、勝つぞー、勝つぞー、勝つぞー！

ありがとうございました。今日より17日間、心を合わせて丸川珠代の必勝のためにがんばっていきましょう。また、ご来場の皆さまには、12時よりJR新橋駅におきまして丸川珠代候補の第一声を行わさせていただきますので、ぜひ丸川候補を激励させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

選挙カー：皆さん、どうかこの「9条ネット」を覚えていってください。世界に誇れるものがあるとしたら、美しい自然、それにも増してこの9条、平和憲法です。どうかこの平和憲法を守りましょう。

選挙カー：まもなく山東昭子が立候補のご挨拶をさせていただきます。どうぞ皆さま、SL広場にお集りいただきますようお願い申し上げます。

男性候補者：えー中近東というのは今、皆さん御存じのように我々日本にとって一番ある意味においては大事な、そして、ただし一番我々の知識のないところなんです。

選挙カー：よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。ただいまの熱い決意表明は維新の党新風公認、鈴木のおゆき候補でございました。ありがとうございました。

選挙カー：ただいまは熱心に山東候補本人の決意表明を聞いて…

丸川・支援チーム：丸川珠代でございます。よろしくお願いいたします。



CHAPTER 4 - Min 19:15

鈴木 (街頭) : 皆さんありがとうございます！昨日第 21 回参議院選挙に東京選挙区より立候補いたしました、参議院議員現職の民主党の鈴木かんでございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございます。

鈴木よりコメント : 鳩山先生のような有力な政治家が街頭演説をしているとですね、立ち止まってくれるんですよね。一般有権者の方々が。演説をする私の話を聞いてくれる人が多くなるわけですよね。さらに言えばその模様をカメラ等に撮ってですね、テレビ等で映したときに誰も聞いていないという映像よりも、好印象になりますよね。

鈴木 (街頭) : (皆さん、今回の選挙、まさに争点は年金であります。しかし、なぜ今回の選挙の最大の争点が年金になったか。年金改革プロジェクトチームがまさに消えた年金問題、足かけ 2 年追及に追及を重ねて、このあまりにも) ずさんな実態を明らかにすることができたから、年金選挙になっているわけであります。皆さま方と私たち民主党で、逆転の夏をご一緒に実現をさせてまいりましょう。鈴木かんも東京で一生懸命全身全霊がんばります。どうかご支援のほどお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

選挙カー : ただいまのお伝え、民主党の東京選挙区における公認候補でございます、鈴木かん候補者でございます。

川田 (街頭) : 薬害エイズを引き起こした、当時の厚生官僚がその後、社会保険庁の長官に天下り、今回の 5 千万件もの消えた年金問題を引き起こしています。(薬害エイズを引き起こした厚生省の官僚と、年金問題を起こした社会保険庁の長官が同一人物。官僚の天下り、無責任さ、隠ぺい体質が人々に不安と苦しみをもたらしています。私、川田龍平は) その社会の仕組みを変えていきたいのです。ありがとうございました。川田龍平でした。

山内和彦よりコメント : 川田龍平さんの場合は、元々彼は知名度が薬害エイズの裁判で非常に大活躍されていたということで、国民的な浸透もあった、それでも、やはり東京という狭いエリアでの選挙区だと大苦戦だったので・・・。

川田よりコメント : 自分がやってきた活動を、いわゆる薬害エイズという問題を自分がやってきたということで、今のこの国の厚生行政、特に医療の問題、薬害の問題ということについて、今も全く変わっていないんだと。僕も自分が薬害エイズの裁判で闘ってきて、今の厚生省の体制というのは全く変わっていない、というところでその厚生省を変えたい、国を変えたいんだというところで自分が今回選挙に立候補することを多くの人に伝えると。名刺は会った人に渡すことについては選挙違反ではないので、名刺を渡すことで自分の名前と顔を知ってもらう、というのは大きな一つの手段として使ったわけですが、自分自身とあいさつをした人に名刺を渡すということで、無差別には配ってはいないですね。



(c) 2008 by Axel Klein

川田よりコメント：駅がやっぱり一番人が集まると。特に東京の場合はですね。地方ですと、車を使う人が多いので、車の人をターゲット・目標にして選挙戦術を考えなきゃいけないんですけども、東京はやはり電車を利用する人が多いので、その電車を利用する人が集まる駅というのが不特定多数の人に会うには一番出会いやすいポイントです。

鳩山：最後にもう時間がありませんから…一昨日でしたか、昨日でしたか、イチロー選手が海の向こうではランニングホームラン、オールスターで打った、MVP をもらった、すばらしい活躍を日本人の選手がやってくれた。こんなにうれしいことはありません。そしてこちらにも、イチロー選手がおります。

小沢 (CM)：「必要なのは行動すること、自分たちの力で生活を守ること。」
生活が第一！「民主党です」

選挙カー：ご周辺の皆さま、本当に長時間にわたり大きなマイクでのお騒がせ、本当にもうしわけございませんでした。何とぞ鈴木かんに暖かいご理解ご協力、そしてご支持ご支援をよろしくお願いいたします。本日は鈴木かんの応援に鳩山由起夫幹事長が駆けつけております。どうぞ皆さま、今回の参議院選挙はぜひとも、民主党と賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Chapter 5 – Min 25:15

中松 (街頭)：錦糸町の皆さん、ドクター中松が参りました。後ほど皆さんと、下へ降りて、幸せの握手をしたいと思っております。何しろ、私と握手した人はみんな幸せになるという伝説があります。後ほど下へ降りまして、ご挨拶をしたいと思っております。私はこのたび、参議院選挙東京選挙区に立候補しましたドクター中松と申します。

中松 (街頭)：私ならばこれ一挙に解決できます。なぜ解決できるのか。これはですね、私が発明した「年金ドロップアウト防止システム」というのがあるんです。これで一挙に解決するんですよ。もう皆さんの心配は一挙になくなるんです。今年中にとかね、5年以内とかそんな話じゃだめなんです。今、ただちに解決しなきゃいけないんです。これを解決できるのは私だけなんです。

共産党：確かな野党ー 日本共産党ー 怒りの一打をー 日本共産党に！
託してくださいー 今こそ必要ー 確かな野党ー！
東京選挙区はー 田村ともことー お書きくださいーい！
比例代表選挙はー 日本共産党とー お書きくださいーい！

中松：ドクター中松ー♪

「ド」は努力のド 「ク」は工夫のク 「ター」は楽しく 「な」は何でも 「か」は考える 「ま」は魔法のように 「つ」はつくります
ドクター中松ー♪



Chapter 6 - Min 30:37

選挙カー：10年間、朝のテレビ番組でニュースキャスターを務めて参りました、中村慶一郎です。よろしくお願いたします。

中村（街頭）：下北沢を通行中の皆さま、そして下北沢駅周辺の皆さま、お暑うございます。皆さまお元気ですか。私、国民新党の東京都公認候補、中村慶一郎です。皆さまにお力添えいただきたく、今この下北沢へ参りました。暑さも厳しい、選挙も厳しい。しかしこの厳しさをくぐり抜けていかなければ、栄光の道に到達いたしません。私たち国民新党そして中村は、力一杯がんばって皆さま方のご声援をいただきたい、そう思って今ここに立たせていただきました。

中村よりコメント：私のような新しい候補、そして所属する国民新党は小さな政党で、大きな組織というものを持っておりませんからね。なかなか知られないんですよ。国民新党自体も知られないし、その一つの候補である東京都選挙区の中村も知られない。ですから駅の前で朝通勤で通ってくる人たちに、「国民新党はここにあり」と、そして国民新党はこういうことを考えているんだということで、ビラを配ったりして名前を知ってもらおうと思って訴えたんですけども。なかなかそれが浸透しませんでしたね。

女性：ありがとうございます。中村慶一郎、下北沢の皆さまのご支援をいただきまして、歩いて歩いて次の遊説地へうかがいます。

（あ、北に私たちが移動するんで…）

選挙カー：日本共産党の街頭演説を行います。

（日本共産党ー えいえいおー！ えいえいおー！）

ありがとうございます。東京選挙区、田村ともこに皆様のご支援お願いたします。比例代表は日本共産党とお書きください。東京選挙区候補、国会議員秘書8年、二人の子供を育て、働く女性の頼もしい味方です。田村ともこ候補をご紹介します。

田村（街頭）：さて皆さん、先日もニュースがありましたね。「おむすびが食べたい」と一言書き残して餓死をした方がいた。私このニュースを聞いて、この方一体最後にどんな食事されたんだろうか、と考えずにいられませんでした。そして最後に買ったこの食事も、買った時消費税払ってるんだよな。パン1個、おむすび1個、こんな食事をしてる人にも容赦なく増税を押し付ける。これが消費税の増税ですよ。どんな理由持ち出そうとも、やってはならない道ではないでしょうか。

選挙カー：どうも皆さん、最後までご協力ご清聴ありがとうございました。

綿貫：私、国民新党代表の綿貫たみすけです。

CM（綿貫）：ブレない、信念の政治を目指します。（歌）



CM (ナレーション) : 国民に優しい政治を目指します。

綿貫 : この新しい年金制度をきちっと作らなきゃならんということでもあります。従って、今、火事の後始末をしながら、次の家を建てる計画とか次のローンを払う、消費税でやるかどうかというようなこと、まさにごっちゃにして今、年金問題が言われております。私どもはこの火を早く消して、次の年金はこの選挙が終わったならば直ちに年金国会を開いて、各党は全部参画をして、国民の目線で新しい年金制度を作らなければならない、と主張しておるのが、我が国民新党であります。

どうか皆さん、国民新党の中村慶一郎さんをよろしくお願い申しあげまして、代表からのお願いのご挨拶といたします、どうぞ皆さんよろしくお願いします。ありがとうございました！

中村よりコメント : 私たちも、あの参議院選挙の時にあんなパラパラの人数で、しかも私だけが街頭演説に立ったんじゃないなくて、政治歴30年を超す綿貫たみすけ国民新党代表、日本を代表する有力な政治家ですよ。そういう方たちが街頭に立っても、あんまり耳を傾けてもらえなかったと。そういうことを考えますと、やっぱり街頭演説のやり方や、場所の選定や時間の作り方や、やっぱり考え直さなきゃいかんなと思いました。

Chapter 7 – Min 37:47

丸川・支援チーム :

さすがになんか今日寒いですよね。半そでですごい寒くて。

そう、濡れたじゃないですか。

そうそうそう。それがちょっと堪えましたね。

練馬の時けっこう降ったもんね。

急に降り出しましたよね。

それがちょっとつらかったよね。

こんばんわー 丸川珠代で一す。

こんばんわー 丸川珠代です。よろしくおねがいたしまーす。

ありがとうございますまーす。

お勤めごくろうさまで一す。

はい、じゃあ撮りまーす。

ありがとうございますまーす。

皆さまお疲れ様で一す。

保坂 : (会場入り口にて) あ、どうも。すみませんねえ。これやっかいなんだよ。よいしょ。

司会 : (会場) …な選挙でありまして、国民の皆さまの賢明なご判断をお願いを申しあげるしだいでございます。



(c) 2008 by Axel Klein

保坂：こんばんは一

司会：あ、来られたようなのでこれでやめにします。えー、彼は大変元気で飛び回っておりますし、スポーツマンですし、行動力もあり明るさもありですね、そういう候補者でございますので…

保坂：あの一、自民党は14人で当選をさせていただきました。本当に皆さん方、ありがとうございました。これからは、参議院保坂さんぞうのために、この間約2万1千くらいいただきましたので、この票をぜひ保坂さんぞうによろしくお願いを申しあげましてご挨拶とさせていただきます。どうも今日はありがとうございます。

保坂：群馬県から一つとりまして、東京へ持ってきたんです。ですから群馬県は2名だったんですが1名になって、東京に来ちゃったと。これが私が今、闘っているところなんです。で、栃木県からも同じように1名が定数で来まして、千葉県に。こういう状況なんです。私どもの東京選挙区はしたがって5名ということになりました。5名ですから、当然民主党は2人出すから、自民党も2人出す。それはもう党の関係者とすれば当たり前の手続きであり、また使命であると思うのです。それで一番直近でもう一人の候補者の方が決まっただけさつがあるんです。ですから、本当のことを言うと、もう一人の候補者もかわいそうなところがあるんですね。もっと早くから準備してればよかった。しかし、相手の私がかわいそうなんて言ってる暇はなくなっちゃったんです。皆さん方全員が、ご当選あそばせますように保坂さんぞうも一生懸命やりますが、一緒にどうぞ、29日よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

司会：先生ありがとうございます。じゃあ保坂候補はこれから渋谷の方へ向かいますので。どうもありがとうございました。がんばってください！

Chapter 8 - Min 44:20

マック（街頭）：…じゃあ課長があなたのために態度を改めてくれます？課長が。改めてくれないじゃん。そりゃあなたが変わるしかないのよ。その嫌な課長の前でも。ところがその課長から「おい君」と呼ばれたら「なんですか課長」「お茶いれてくれ」「またいれるんですか課長」「コーヒーいれて」「さっき入れたばかりでしょう課長。しまいにコーヒーの中にあたしの鼻くそ入れるわよ」（と、それだけあなたは嫌いな課長の前で眉間にしわ、そういう顔。はい、マック赤坂です。）

マック（街頭）：…あ、YouTube見た？出てたでしょ。なんか今ものすごい人気らしいね、私が。何で？

若者：えっと、スマイル？



(c) 2008 by Axel Klein

マック (街頭) : スマイルおもしろい? ね。政権放送で視聴率とれたのあたしぐらいのものらしいよ。ありがとう。今やマック赤坂は落選寸前ですが、若者が大好きなインターネットの YouTube、そこでは人気ナンバーワン。

中村 (演説) : 私にとりましては、皆さま方は私の将来の宝です。一生の友です。絶対に忘れることなく、最後まで力いっぱい闘ってみたい、こう思って…

中村よりコメント : ああいう会場でやる個人演説会は、俗に日本ではですね、「箱モノ」って言うんですね。部屋っていうか、箱の中にお客様、有権者を入れてやるから「箱モノ」って言うんですけど、あの方が効果ありますね。

中村 (演説) : もし、当選が与えられるならば、日本一の福祉政策専門員を目指してかかります…

中村よりコメント : あそこにいた、あれで500人くらいおりましたかね。言っていましたでしょ。だからまあ当選までは至らなかったけれども、やっぱり相当な効果があったと思うんですね。

杉浦 (街頭) : 私、杉浦ひとみは、これまで子供に関わってきた弁護士として、これからは国会の中で子供のために教育予算をつけて、子供のための法制度をつくっていきます。子供たちは私たちが守っていかなければ、誰も守ってくれないんです。

杉浦 (街頭) : 先生に「お前いじめられてるんじゃないか」と言われても、「いいえ、違います。友達と一緒に遊んでるだけです」とそんなふうに答えてしまう。だっていじめは本当にみじめだから。それに、もしいじめられていると親に訴えたら、親はどんなにびっくりするし悲しむだろう。自分の子供がいじめられていると知ったら親はどんなに驚くだろう、心を痛めるだろう。子供心にそのことを知っているんです。だからいじめは、いじめられてる、助けてくれと子供が声を上げることができないのです。

社民党 (CM) : 勝ち組とか負け組って、どう決めるのですか。

フリーターとか、ニートって。個人の問題ですか。

老人って、ただのお荷物ですか。

つよい国とやさしい国。どちらがいいですか。

司会者 : 志位委員長、よろしくお願ひいたします。

志位 : 皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました、日本共産党の志位かずおでございます。

共産党 (CM) : <増税と年金>やっぱり不安です。

<仕事>安定した職場がほしい。

<憲法9条>平和のために大事じゃないかな。

今こそ必要、確かな野党。



Chapter 9 – Min 49:24

志位（演説）：皆さん、日本共産党が伸びれば政治は必ず変わります。1議席伸びて10議席になりましたら、国会での党首討論に私も再び立って発言ができるようになります。今の国会党首討論、自民と民主だけでやっておりまして、はっきりいってつまらないですね。眠くなっちゃう人が多いんじゃないでしょうか。途中でテレビ消しちゃったり、他にチャンネル回す人が多いんじゃないでしょうか。私、発言の機会を与えていただきましたら、必ずヤスリル満点で面白い討論をお約束いたします。どうか皆さん今度の選挙ですね、自民か民主か、そのどちらかのみには焦点があるんじゃないんですよ。確かな野党日本共産党がどれだけ伸びるか、これが最大の焦点なのです。私も、ここにおいての皆さんがご支持の輪を最後の最後まで広げていただきますことを、最後に心からお願い申し上げます私の挨拶とかえさせていただきます。

山口（街頭）：自分の口から、先見の明があったとは言いたくありません。しかしこの日本列島、いつどこで何が起きるかわからない、だから先々を見て先手先手を打っていく、こういうことが政治家には必要なであります。そして公明党は今回の選挙で、「命のマニフェスト」を発表させていただきました。その「いの一番」に掲げてあるのが、ドクターヘリの全国配備というものであります。このドクターヘリの全国配備の法案、これを今度の国会で作らせていただきました。その先頭に立って、それを推進してきたのは、私、山口なつおなのであります。

大河原チームの男性：ありがとうございます、民主党です。大河原まさこで一す。これを「おおがわら」と濁ってはいけません、「おおかわら」ですから、皆さん。勘違いをしないようによろしくお願ひします。おおかわらまさこでございます。今日は地元の馬場ゆうこ東京都議会委員、阿部ゆみこ区議会議員、皆川たかゆき区議会議員、そして更には小宮山ようこさん、見てください、小宮山ようこさん…←ここまで

大河原よりコメント：とても元気でにぎやかな商店街なんです。で、やはり買い物に来ていらっしゃる方たち。私は生活のプロ、生活者というキーワードで皆さまに覚えていただきたい。実際に自分の政治の課題として取り組んできた食べ物の安全だとか子供たちの健康問題だとか高齢者の皆さんの福祉や障害者の皆さんの福祉、そういうことを直にお伝えできる、また、地域の方から直にお声が意見を聞かせていただける場だと思ったので、そういう商店街に行くことは日常的にもしてきたことなのです。

山口（街頭）：どうぞ皆さんのお力で山口なつおを勝たせていただきますように心から、心からお願いを申しあげまして終わりとさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

選挙カー：ただいま地元の山口なつお、皆さまのもとへ握手をいただきに伺っております。皆さまの力が必要です。皆さまのご支援が必要です。どうぞ山口なつおをよろしくお願ひいたします。



(c) 2008 by Axel Klein

CM 公明党：私たち公明党は、国民の皆さまと共に語り、共に歩むために生まれてきました。そして今、未来に責任、公明党。

選挙カー：(歌) 第9条。日本国民の宝。世界の宝。憲法9条を守ろーう。私たちひとりひとりの手で。今愛が必要。優しい気持ち、愛の気持ち、誰も戦争なんて...子供たちを戦争になんて巻き込ませたくない。憲法9条♪

Chapter 10 – Min 55:26

ZAKI：皆さん、こんにちは。「9条ネット」、戦争許さん自給自足ミュージシャンの **ZAKI** です。えー、選挙最終日です。明日の選挙日には皆で選挙に行つて安倍政権をぶっ倒してやりましょう。それでは「さよなら戦争」を歌っていただきます。

女性：では、まず最初に、私たちの日本国憲法、第9条の第一項分をアカペラで歌います。

(歌) 日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇、または武力の行使は... 私たちの日本国憲法9条です。

ZAKI：CD も売っていますので。さよなら先生の CD も売っています。それでは、よろしく願います。また。

選挙カー：安倍晋三、安倍晋三総理が到着されました。

CM 自民党：安倍晋三です。魅力ある、元気な地域をつくる。生き生きと働ける地域をつくる。地域に活力、成長で活力。暮らしに届く改革、自民党です。

安倍：安倍晋三でございます。先ほども街頭で、この逆風の中、頑張れ、負けるな、という声をかけてくださいました。本当に嬉しいです。信頼できる年金制度を構築していきます。そのためにも年金の記録問題、解決をしなければいけません。社会保険庁は何をやっているんだ。この思いは私も皆さまと同じです。しかし私はもちろん行政の長として皆さまにお詫びを申し上げなければならないこの問題は、社会保険庁において10年間先送りにされてきた問題であります、私の内閣で全て解決をしていくことをお約束を申し上げます。

私たちは、私たちは、私たちはそして丸川さんは、必ず改革を進めて行きます。そして経済を成長させ、日本をもっともっと元気にして参ります。私たちにお任せください！

選挙カー：熱き思いを、熱き思いを安倍晋三総裁総理が語りました。ありがとうございました。



Chapter 11 – Hour 1:00

丸川・支援チーム：こんばんは一。丸川珠代で一す。よろしくお願いまーす。ありがとうございまーす。

Chapter 12 – Hour 1:04

リポーター：丸川珠代候補が事務所の中に入って行きました。10年以上のテレビ局アナウンサーの後、この自民党の擁立候補としてこの選挙に挑みました。時には涙を流し…。

(選挙日)

平沢：私たちが今日まで考えていたのは、まずは保坂さんぞう先生に絶対勝ってもら、そして丸川珠代さんに何として…に滑り込んでもらう。2議席を確保すると。その思いで私たちはこの選挙戦を戦ったわけでございます。しかしながら、しかしながら大変残念なことに保坂さんぞう先生がふかいをきしてしまいました。

司会：ありがとうございました。お待たせいたしました。続きまして丸川珠代本人よりご挨拶申し上げます。

丸川：本当に皆さまありがとうございました。この選挙を支えてくださった沢山の方々に本当に心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。今回の選挙、一緒に勝ち抜こうと誓い合っていた保坂先生が残念な結果になりそうだとこのことを受けて、私自身も本当にその先生の思いを受けて、しっかり働かせていただきたいと一生懸命できる限りのことを皆さんの声を聞いてやらせていただきたいと思っております。ただ今は感謝を申し上げるばかりでございます。ありがとうございました。

司会：続きまして、だるまの目入れをお願いしたいと思います。